

# 薬剤の種類増加

今回の病院の実力は「肺を取り上げる。一覽表に2013年の「手術」と、多様な放射線治療の「定位照射の治療実績（患者数）」の

## 肺がん

ことが多い。04年に保険適用されて徐々に普及したが、これに対応した装置や専門スタッフが配置されている施設は限られる。

なお、痛みの緩和やがんの進行を防ぐ目的で用いられる定位照射以外の一般的な放射線治療の実績は、表には含まれていない。

肺の外にも広がるなどした進行がんの場合は、化学療法や放射線治療が中心になる。

肺がんに使える薬剤の種類は近年増加しており、がんのタイプに応じた使い分けも進んでいる。

手術、放射線治療、化学療法はがん治療の3本柱だが、これらを組み合わせて治療するケースもある。

## ロボット手術 他院と連携

岐阜大学医学部  
付属病院第一外科  
岩田尚 臨床教授 49



がんの中でも、肺がんは部位別の死亡率が最も高い。喫煙が原因になる可能性はよく知られているが、喫煙経験のない若い女性にも腺がんが増加しており、遺伝子変異や環境などの要因もリスクとなる。

肺がんが発見されると、がんの大きさや周辺臓器への浸潤度、リンパ節への転移状況などを総合判断し、病期を決定する。病期はⅠA～Ⅳ期までの7期に分けられ、ⅠA～ⅡB期までは手術による治療が一般的。ⅢA期以上でも、薬や放射線治療でがんを小さくして手術を行うケースもある。

手術では、従来の胸を大きく切開して行う方法に加え、体側に数か所穴を開けて、胸腔鏡を用いて行う「胸腔鏡下肺葉切除術」も、術後の呼吸機能を温存させる方法として注目されている。病期や患者の体力などを考慮して、手術方法を選択する。

近年は、自覚症状がない初期段階で、健診などをきっかけにがんが発見されるケースが大半だ。早期発見されれば、治療法の選択肢も広がり、生存率も高い。当院では91歳の患者の手術成功例もある。年齢で諦めたり、必要以上に悲観したりせず、早期発見、早期治療が望まれる。

現在、肺葉切除術が標準となっているが、肺葉をさらに区分けして切除範囲を小さくする「区域切除術」も、術後の呼吸機能を温存させる方法として注目されている。病期や患者の体力などを考慮して、手術方法を選択する。

近年は、自覚症状がない初期段階で、健診などをきっかけにがんが発見されるケースが大半だ。早期発見されれば、治療法の選択肢も広がり、生存率も高い。当院では91歳の患者の手術成功例もある。年齢で諦めたり、必要以上に悲観したりせず、早期発見、早期治療が望まれる。

# 病院の実力

～岐阜編 79

医療機関別体制と  
2013年治療実績（読売新聞調べ）

医療機関名	手術を受けた患者数 (人)	定位照射を受けた患者数 (人)	手術執刀医師数 (常勤、人)	放射線治療担当医師数 (常勤、人)	化学療法担当医師数 (原則専従、人)
県がんセンター	220	3	4	4	5
名古屋第一赤十字	217	0	5	2	10
名古屋大	192	4	9	17	3
名古屋市大	125	26	6	5	4
藤田保健衛生大	125	3	4	3	10
刈谷豊田総合	99	4	3	1	0
小牧市民	99	0	2	1	8
豊田厚生	80	0	2	1	1
安城更生	77	0	1	4	6
名古屋第二赤十字	75	9	3	2	1
豊橋市民	66	0	2	1	0
県がんセンター愛知	64	2	3	1	0
名古屋市立西部	58	26	3	-	1
総合大雄会	41	0	2	1	2
一宮西	39	-	-	-	-
中部労災	36	0	2	1	9
地・中京	31	19	1	2	5
一宮市立市民	28	9	1	2	0
市立半田	23	2	1	1	0
名古屋市立東部	22	0	2	4	0
大同	19	0	2	0	0
名古屋記念	14	0	1	3	3
国・豊橋医療七	7	0	1	0	1
春日井市民	1	0	0	0	0
名古屋共立	0	5	0	0	0
伊勢赤十字	36	0	6	0	0
県立総合医療七	33	0	4	0	1
地・四日市羽津	10	0	1	0	1
市立伊勢総合	8	0	4	2	0
岐阜大	106	15	3	3	7
岐阜市民	76	21	3	1	1
大垣市民	73	15	2	0	6
県総合医療七	60	1	1	1	5
県立多治見	52	20	1	3	1
岐阜赤十字	7	0	0	0	0
木沢記念	2	13	0	3	1

都道府県

愛知県

三重県

岐阜県

「国・」は国立病院機構。「地・」は地域医療機能推進機構。「セ」はセンター。「一」は無回答または不明。治療実績は2013年1年間、医師の体制は14年4月時点。

全国の調査結果は「くらし健康面」に掲載しています。次回は9月7日「乳がん」の予定です。